

# 環境構築

# ChatGPT に登録する

1. <https://chatgpt.com/> からアカウント登録をする

# python 等のインストール (Windows 編)

## Windows の場合 ([参考](#))

1. PowerShell を開く (Windows キーを押して Shell と入力し Enter)
2. 以下のコマンドをコピペして Enter を二回押す

```
Set-ExecutionPolicy -ExecutionPolicy RemoteSigned -Scope CurrentUser  
Invoke-RestMethod -Uri https://get.scoop.sh | Invoke-Expression  
scoop install git  
scoop bucket add extras  
scoop update  
scoop install python  
scoop install vscode
```

# Homebrew のインストール (Mac 編)

## Homebrew のインストール

### 1. Homebrew がインストールされているか確認

```
brew --version
```

1. "brew" not found と出るなら、インストールされていない
2. バージョン情報が出ていれば OK (次のページへ)

### 2. Homebrew がインストールされていない場合 ([参考](#))

1. 以下をターミナルにコピペして Enter を押す

```
/bin/bash -c "$(curl -fsSL https://raw.githubusercontent.com/Homebrew/install/HEAD/install.sh)"
```

2. ダウンロードが終わった雰囲気になったら、Run these two commands in your terminal to add Homebrew to your PATH: に続く三行のコマンドをコピペして Enter を押す
3. 以下のコマンドを実行する

```
brew --version
```

4. バージョン情報が出ていればOK (次のページへ)

# python のインストール (Mac 編)

## Python のインストール ([参考](#))

### 1. Python がインストールされているか確認

```
python --version
```

1. 「“brew” not found と出る」「Python 3.9.X と表示される」場合は、新しく DL する
2. Python 3.12 以上のバージョン情報が出ていれば OK (「uv のインストール」へ)

### 2. Python をインストールする

1. 以下をターミナルにコピペして Enter を押す

```
brew install pyenv
pyenv -v
echo 'export PYENV_ROOT="$HOME/.pyenv"' >> ~/.zshrc
echo 'export PATH="$PYENV_ROOT/bin:$PATH"' >> ~/.zshrc
echo 'eval "$(pyenv init -)"' >> ~/.zshrc
source ~/.zshrc
pyenv install --list
```

2. 次のページへ

# python のインストール (Mac 編)

## Python のインストール ([参考](#))

### 1. Python をインストールする

```
pyenv install 3.13.1  
pyenv global 3.13.1  
python --version
```

1. 「“python” not found と出る」「Python 3.9.X と表示される」場合は、高橋を呼ぶ
2. Python 3.12 以上のバージョン情報が出ていれば OK (「uv のインストール」へ)

# uv のインストール

1. 以下を実行する

```
curl https://astral.sh/uv/install.sh | sh
```

2. ターミナル (or WindowsPowerShell) を再起動する
3. 以下を実行して、uv 0.X.X となれば OK

```
uv --version
```

[参考](#)

# Git Bash のインストール

Windows の人は先ほどインストールしたので OK

Mac の人は `brew install git` でインストールする

以下のコマンドを実行して、バージョン情報が出ていれば OK

```
git --version
```

# GitHub アカウントの作成

<https://github.com/> にアクセスして、アカウントを作成する

# VS Code をインストール

Windows の人は先ほどインストールしたので OK

Mac の人は `code -v` でインストールされてているか確認 ([参考](#))

上記でバージョン情報が出ていれば OK

“code” not found 等が出ているなら、以下を実行する

```
brew install --cask visual-studio-code
```

# テンプレートをクローンする

1. 以下のコマンドを実行する

```
git clone https://github.com/ryu-thakahashi/otree-template.git
```

2. 次に、以下のコマンドを実行する

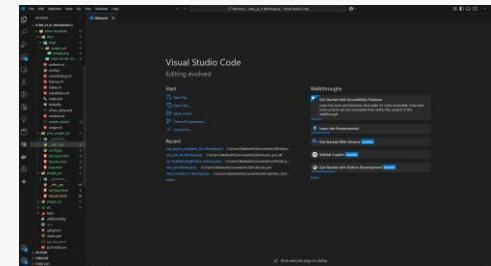
1. Windows の人は、以下のコマンド

```
cd otree-template  
otree_pj_rt.code-workspace
```

2. Mac の人は、以下のコマンド

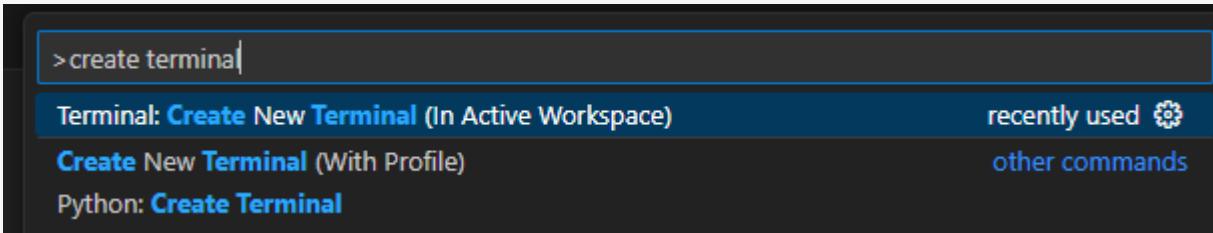
```
open otree-template/otree_pj_rt.code-workspace
```

3. VS Code が開いて、  
右のような画面になれば OK

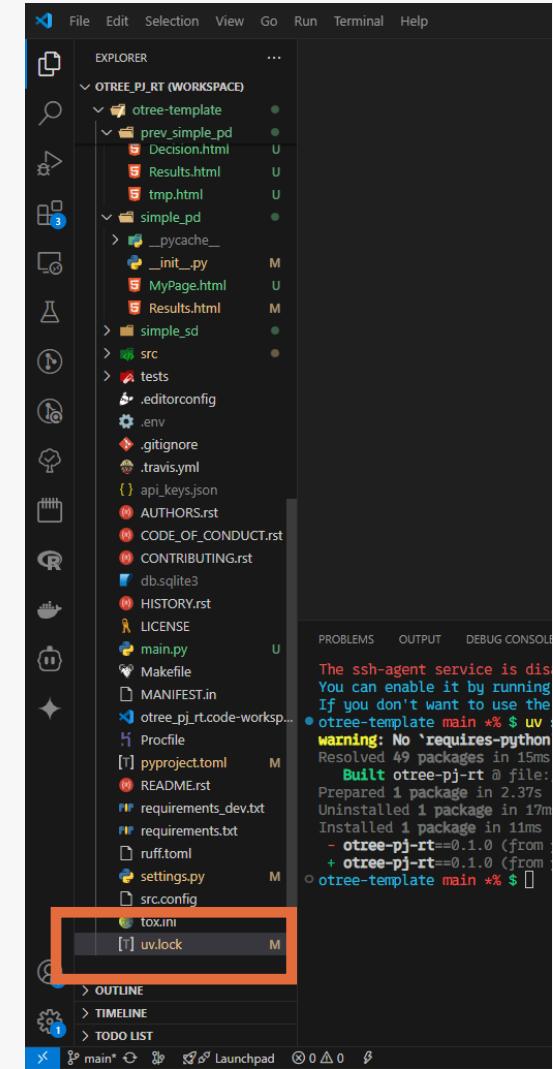
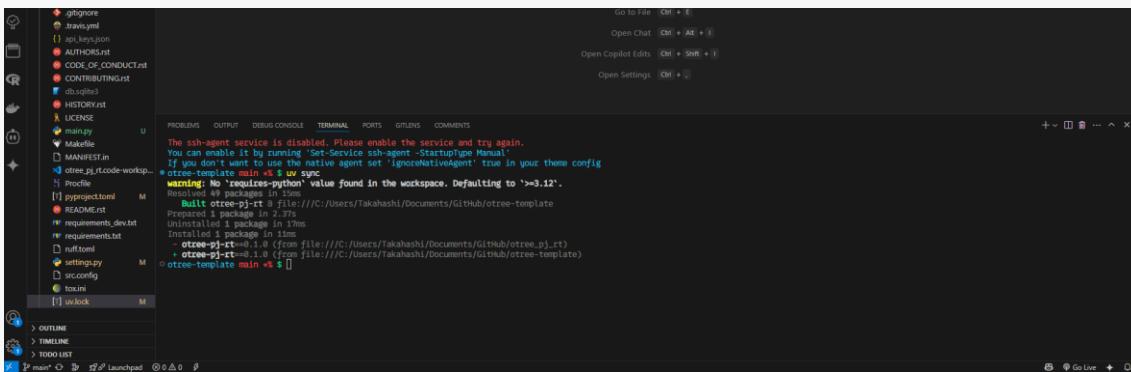


# 仮想環境を同期させる

1. VS Code 上で 「Cmd (Ctrl) + Shift + P」 を押す
2. 「create terminal」 と入力し、選択する

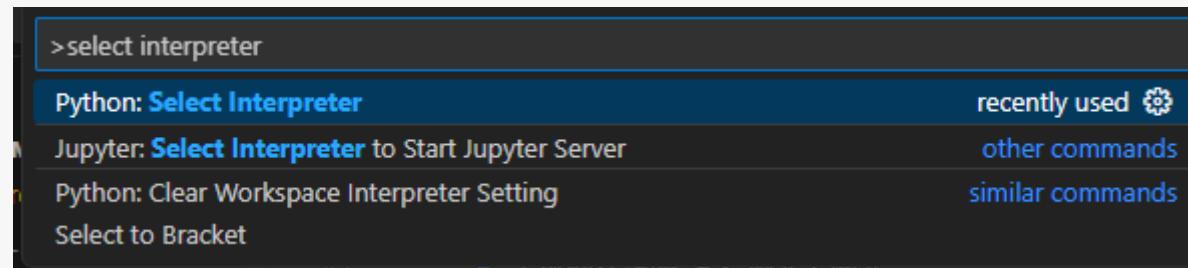


3. uv.lock というファイルがあれば、削除する (→)
4. 画面下部の TERMINAL で uv sync と入力して Enter を押し、下のような出力になれば OK

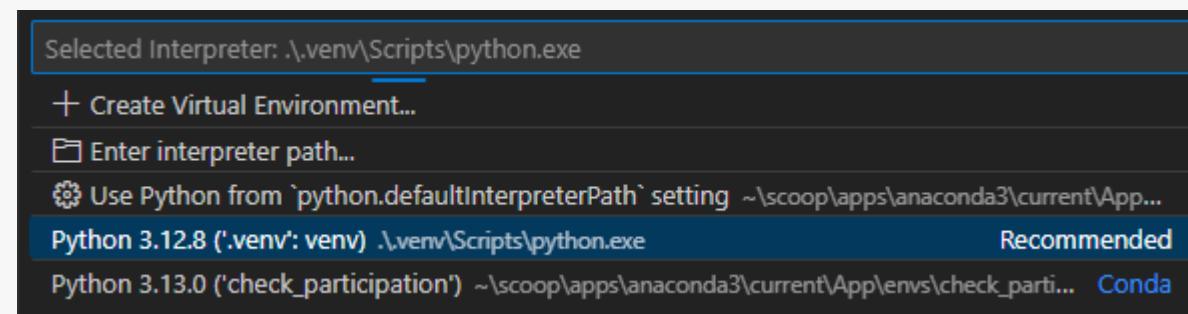


# 仮想環境を有効にする

1. VS Code 上で 「Cmd (Ctrl) + Shift + P」 を押す
2. 「Select interpreter」 と入力し、選択する

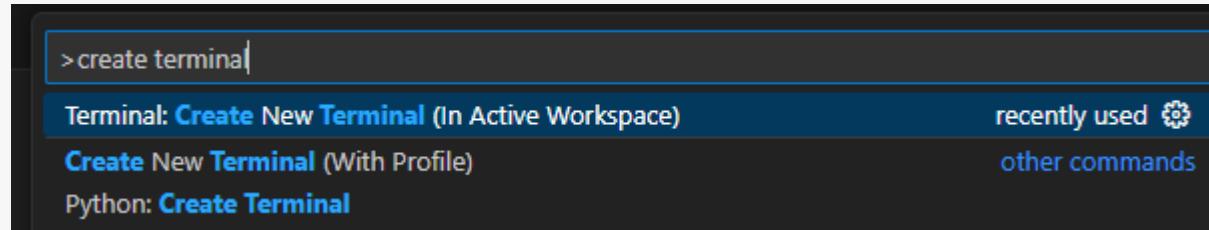


3. .venv という名前の interpreter を選択する



# oTree が動くか確認

1. 「Cmd (Ctrl) + Shift + P」を押す
2. 「create terminal」と入力し、選択する



3. otree –version を実行して「5.11.X」以上であれば OK

```
...$ otree --version
exp_psych_programs_25s main *+% $ otree --version
5.11.1
```

# VS Code の拡張機能をインストール

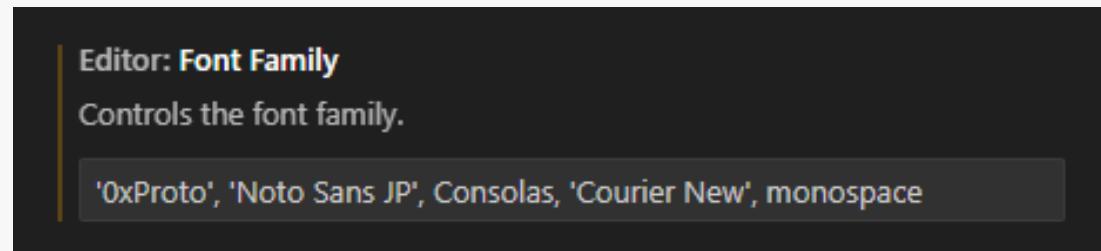
- [Prettier](#)  
コードを自動整形してくれるフォーマッター
  - [Black Formatter](#)  
Python コードを自動で美しく整形
  - [Indent-Rainbow](#)  
インデントに色をつけて視認性をアップ。
  - [Pylance](#)  
Python 開発の補完と型チェックを強化。
  - [Python](#)  
VSCode での Python 開発をサポート。
  - [vscode-icons](#)  
ファイルアイコンを分かりやすくカラフルに。
  - [Python Indent](#)  
Python のインデント処理をより自然に。
  - [Gemini Code Assistant](#) (or [GitHub Copilot](#))  
AI によるコード補完・提案アシスタント。  
使い方 : [Gemini Code Assistant](#)  
[GitHub Copilot](#)
  - [HTMLHint](#)  
HTML の文法チェックを自動でしてくれる
  - [HTML CSS Support](#)  
HTML と CSS の補完を強化。
  - [Rainbow CSV](#)  
CSV ファイルをカラフルに表示・編集。
  - [Auto Close Tag](#)  
HTML や JSX タグを自動で閉じてくれる。
  - [Auto Rename Tag](#)  
開始タグ・終了タグの名前を同時に編集。
  - [Bootstrap 5 Snippets](#)  
Bootstrap 5 の便利なスニペットを提供。
  - [Django](#)  
Django テンプレート・構文のサポートを追加
- [他にもいっぱい](#)あります！探してみてください！

# VS Code のもろもろの設定

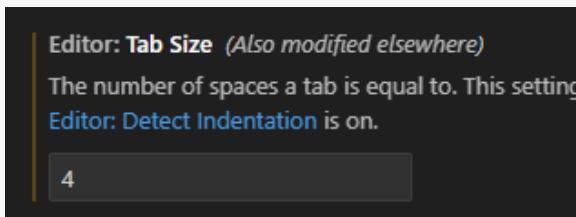
「Cmd (Ctrl) + ,」を押して設定を開く

- フォントを設定する
    - 0xProto をインストール ([参考](#))
    - Noto Sans JP をインストール
    - フォントを以下のように設定
  - 保存時にコードをフォーマットする

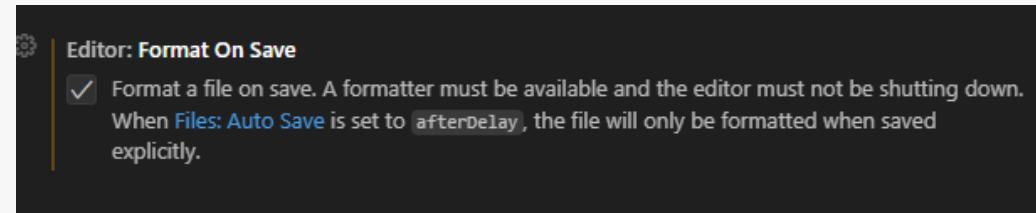
'0xProto', 'Noto Sans JP', Consolas, 'Courier New', monospace



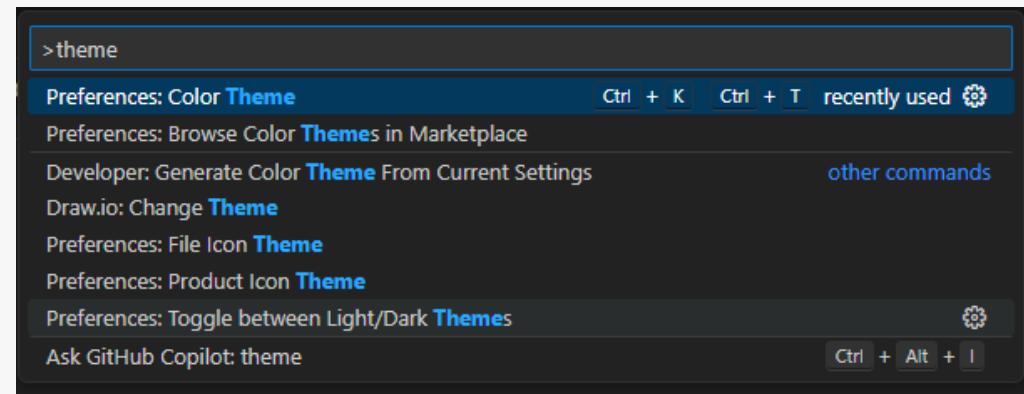
- タブサイズを変える



- 保存時にコードをフォーマットする



- Theme を変える
    - 「Cmd (Ctrl) + Shift + P」を押す
    - 「Color Theme」と入力し、選択する



# Render に登録する

<https://render.com/> にアクセスしてアカウントを作成する

# 補足

# Path の通し方 (Mac 編)

[このチャットを参考に](#)